

第 35 回全日本バトン選手権大会ルール

【競技種目・規定内容】

種目	タイム	演技内容	内容
①ベーシックストラット 小学生以下対象 低学年の部・高学年の部で審査	予選はストラットの審査、決勝は下記通り バトンを回さず左周りへ4角に8個間ずつ歩く ●アテンション始め～アテンション終わり		歩き方、腕の振り方 方向転換スイッチ、視線、姿勢、ライン、始まり終わりの位置
②規定演技グレード1～6 取得グレードごとの審査 グレード未取得者は出場不可	文部省選定ビデオ規定演技 初級DVDに掲載 グレード1、2、3、4、5、6の規定演技 ●アテンション始め～アテンション終わり ●予選はバトンを落とした時点で演技終了とし、その場で座る		ストラット、正確なバトン操作、視線、姿勢、体の動き、カウント等
③ソロバトン 取得グレードごとの審査 グレード未取得者は出場不可	●グレード1・2 (40秒迄) ●グレード3・4 (50秒迄) ●グレード5・6 (1分迄) ●サリュート始まり～サリュート終わり	演技は次の順番で行う ①コンタクト・フリップ ②縦フィンガーワーク ③ロール ④フラット、フラットフィンガーワーク含む ⑤縦エアリアル	左記の5項目に対し、技術の難度あり ※グレードにかけ離れた技術は審査外となります ※グレード1から4まではフィンガーワークの有無は問いません。
④ソロツーバトン 小学校低学年の部/高学年の部/中・高生の部で審査 ⑤ペアバトン 小学校低学年の部/高学年の部/中・高生の部	●低学年 (40秒迄) ●高学年 (50秒迄) ●中・高生学生 (1分迄) ●サリュート始まり～サリュート終わり		
⑥団体ポンポン 小学生の部/中・高生の部で審査	●小学生 (1分15秒迄) ●中・高生 (2分迄)	自由曲とする 参加団体数、人数により、小編成・大編成での審査あり	①～⑤種目の基本審査項目に加え、団体審査項目(フォーメーション等) スタッツ、発声は禁止
⑦団体バトン 小学生の部/中・高生の部で審査	●小学生 (1分30秒迄) ●中・高生 (2分30秒迄)		

()内は制限時間となり、個人予選は制限時間で終了、個人決勝並びに団体演技は減点とする

①～⑤はマージンドレスシューズ使用/⑥⑦はチーム持参の自由曲

当協会「全国大会公認審査員」により審査を行う